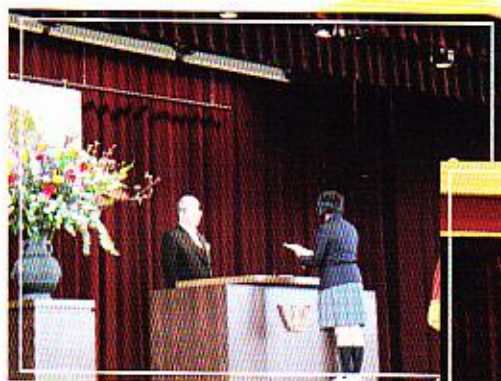
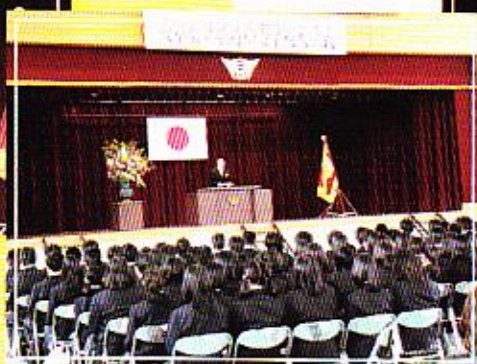


# PTA会報



入学式



PTA 定例総会

## ◎ 笑顔であいさつ

PTA会長 兼松 博之



PTA会員の皆様。平素よりPTA活動にご理解ご協力を頂き、ありがとうございます。先般のPTA定例総会におきまして、昨年度に引き続き平成26年度のPTA会長を拝命いたしました兼松博之と申します。

私が、羽島高校のPTA役員を務めさせて頂いて今年で6年目となりました。このところ毎年ですが、今年度も役員の変更は大変苦労しました。大役をお引き受け頂いた新役員の皆様には心より感謝しております。また、多くの会員の皆様、ご家族の皆様に突然お電話を致しまして、ずいぶんご迷惑をおかけしましたことを、この場をお借りしましてお詫び申し上げます。

先日、同窓会の席で、「PTAの役員選びで苦労している…」という話をしましたところ、同級生の女性から、「いきなり顔も見たことのない男性から、電話でPTA役員になりませんか？なんて言われて、引き受ける人はまずいないよ。お互い知り合って、打ち解けないとね…」と言われました。

確かに、「PTA会長の〇〇ですが…」なんて電話口でいきなり言われても、戸惑うだけだろうなあ〜と、つくづく思いました。では、どうやって皆さんと知り合い、打ち解ければよいのか??? 難しい課題です。

禅の世界に「一挨拶(いちあい いっさつ)」という言葉があります。これは、禅問答のなかで言葉や動作

で互いの悟りの深淺などを試す様子を去し、ひとつ押しひとつ迫る、心を開いて相手に接するというような意味があり、これが今日の「挨拶」の語源と言われています。

「挨拶」は、自分の心を開きながら相手の心を開く、コミュニケーションの基本であり、その力を高めるのが「笑顔」です。

私は福祉関係の仕事に就いており、様々なご相談を受けることがあります。相談を受ける時に常に気をつけていることは、「笑顔であいさつ」です。あまりよい人相とはいえない顔なので、笑顔には結構苦労していますが、挨拶を交わしながら、相手がどういう気持ちでいるかを察しながらお話を伺います。相手のお話をお聴きするだけで終わることもしばしばですが、相談が終わった後、相手が笑顔で挨拶をして頂けたりすると、「今日の話し合いはうまくいったかも…」という実感がこみ上げます。

家庭でのコミュニケーションにおいても、「笑顔であいさつ」に心掛けていきたいものです。子どもたちは何かと反発してしまう年頃ですが、心の奥底では「分かり合いたい」と思っています。根気よく、笑顔で子どもたちを支えていきましょう。

PTAの活動は、今年度も多くのことはできませんが、あいさつ運動や文化祭、なまず祭りへの協力、部活動の支援など、「笑顔」を大切に、少しでも多くの皆様と知り合い、打ち解けることができるような楽しい活動にしていきたいと思っています。皆様のご協力を心よりお願い申し上げます。



保護者の皆様には、日頃より本校の教育活動にご理解とご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

先般のPTA定例総会において新しい役員が就任されました。会長の兼松博之様をはじめ新役員の方々を中心に、本校の発展のためにお力添え

をいただきますようお願い申し上げます。

岐阜県高等学校PTA連合会や、岐阜地区、さらには全国のPTA連合会においても、最近、話題となっているのが、携帯・スマホ問題です。

本校では、授業中の携帯・スマホの使用を禁止しています。授業中に携帯・スマホを使っている場合は、授業に参加していると認めることはできません。

授業以外でも、ネット上のトラブルが社会問題となっています。中毒性があり、それにばかり時間を使って貴重な青春を無駄に過ごしてしまうことや個人情報流出などが、大きく取り上げられています。さらに、LINE、Twitter、Facebookに代表されるSNS上のトラブルが年々増加しており、県教育委員会でもネットパトロールを強化しています。

同じSNSでも、LINEは閉ざされた空間のため人間関係のトラブルがよく発生します。仲間に入れてもらえないとか、悪口を言われたとか、すぐに反応しなかったとかです。転載による情報流出も多く見られるようです。

TwitterやFacebookは、基本的にオープンな空間で書き込みが、一瞬にして世界中に発信され、シェアされていきます。ですから、一度発信した情報を

消すことは、ほとんど不可能とっていいでしょう。コンビニや飲食店のアルバイトの青年が不適切な画像を掲載し、多額の賠償金を請求されたり、大学生がテーマパークでの不適切な画像を掲載し、問題となったニュースは記憶に新しいと思います。

最近では、多くの企業が採用試験の際にネット上で志望者を検索し、過去の発言等をチェックして不合格となる者もでています。生徒たちは、軽い気持ちで利用していますが、就職や結婚といった人生の重要な場面で大きな影響を持つものだと知ってほしいと思っています。

学校でも、情報モラル教育には力を入れておりますが、ご家庭でも携帯・スマホの使用に関して話しあい、ルール作りをお願いしたいと思います。

さて、私にとって羽島高校は初任校で、32年ぶりに故郷へ帰ってきたような懐かしさでいっぱいです。

羽島市唯一の高等学校として、進学から就職まで幅広い進路を希望する生徒に対応できるよう、特別進学クラスや少人数クラスなどクラス編成を工夫し、商業科目設置、工業高校との交流、土曜学習を実施するなど、生徒一人一人のニーズに合わせた学校運営をめざしています。90周年記念事業では集中して学習に取り組めるように教室にエアコンを設置していただきました。

近年、部活動も盛んになってきており、県大会に進む部も増えてきています。昨年度は吹奏楽部が日本管楽合奏コンテスト全国大会で優秀賞を勝ち取りました。ボランティアには、特に力を入れており、Sクラブや生徒会、MSリーダーズを中心に地元の行事に参加しています。生徒の活躍をホームページにアップしておりますので、是非ご覧ください。

## ◎ 平成26年度PTA定例総会 &lt;新役員決定&gt;

平成26年4月25日(金)、「平成26年度PTA定例総会並びに部活動後援会総会」を本校体育館にて開催しました。平成24年度から始めました部活動発表では、弓道部の演武(巻藁試射)、ソフトテニス部のボレー練習、吹奏楽部の演奏パフォーマンスを行い、今年度も生徒の躍動する姿を見ていただいた後に定例総会を行いました。

平日ではありましたが多数の保護者の方々に参加していただき、議案等は原案通り全て承認されました。PTA会長は昨年に引き続き兼松博之会長が務められ、新役員承認及び紹介が行われました。その後、新会長から旧役員の方々に感謝の意を込めて感謝状と花束の贈呈がありました。

総会終了後は、校務分掌長・学年主任等の紹介、進路指導部長・生徒指導部長による本校の現状と指導方針についての説明があり、学年懇談会や学級懇

談会が開かれました。今年度も、羽島高校PTAの活動にご理解とご協力、およびPTA行事への参加をよろしくお願いします。

## =新役員=

会 長 兼松 博之  
副 会 長 会田 貴子  
書 記 服部 明・松丸 侑里  
会 計 鈴木 純子・上山 彰  
会計監査 近藤なお子・藤本 貴子

## ○1年学年

委員長 小林ひかる 副委員長 佐藤 香代

## ○2年学年

委員長 金森由利香 副委員長 藤江 早苗

## ○3年学年

委員長 坂 純子 副委員長 虫賀 匡子

## ◎ 充実した高校生活を送るために

### 生徒指導部

本校では、基本的な生活習慣の確立を柱として、社会の一員としての自覚と、自らの行動に責任を持ち、自己の能力を生かすことのできる生徒になるために、「自己指導能力」の育成を念頭においてさまざまな教育活動を行っています。今年度は特に、「遅刻防止」「正しい服装・髪型」を生徒指導部の重点目標として指導を行っています。そのためには、生徒自身が本校の規則をしっかり認識し、高校生としての自覚を持つ必要があります。

夏休みを前に、ご家庭でもお子さまの1日頃の生活や学習状況を今一度ご確認ください。有意義で充実した高校生活を送るため、お子さまへのご指導、ご助言をお願いいたします。

また生徒の皆さんは、いろいろな悩みを持ち、壁を乗り越えながら日々成長しています。教育相談室では、生徒の心のサポートを行っています。教育相談を通じて生徒自身が自分の抱える課題と向き合い、それを解決していきけるように支援をしていきたいと思っています。今年度も臨床心理士の先生に本校に来ていただき、カウンセリングを行っていただいていますので、保護者の皆様も気軽に利用してください。



「あいさつランドはしま」プロジェクト  
(毎月15日羽島市役所前駅にて)

## ◎ 特別活動で充実した学校生活を

### 特活指導部

学校生活で最も大切なのは、学習ですが、同時に高校生という最も人間として成長する時期に大事な活動が、「特別活動」です。LHR活動・生徒会活動・学校行事、そして部活動を通しての活動が学校生活に充実感をもたらします。それらの活動は教室の中では学習することができない貴重な体験をする機会であり、その活動の経験は心や体を磨き、新しい自分へと成長させてくれます。

本年度はこれまでに生徒会行事として、新入生歓迎会(4月)、球技大会(5月)が開かれました。行事では、新入生が羽島高校に慣れると同時に、各クラスの絆を強めることができ、有意義な時間になりました。

校内の行事としては最大の文化祭が9月5日(金)に開催されます。毎年、各クラスで企画を考え、生徒自らの手で様々なものを作り上げていきます。また、文化系部活動の発表の場として、吹奏楽の演奏や美術・書道の展示などの企画もあります。現在は生徒会執行部や文化委員会を中心に、各クラスでの取り組みが始まっている段階です。

10月22日(水)にはスポーツフェスティバルが予定されています。この大会では球技大会と並行し、バレーボール・バスケットボール・卓球・大縄跳びなどのいろいろな種目を開催しますので、球技大会とはまた違った楽しみがあります。

11月7日(金)には芸術鑑賞会があります。本年度は「中国雑技団」の演技を羽島市文化センターにて鑑賞します。その他、生徒会執行部・Sクラブ・MSリーダーズを中心とした、「あいさつランドはしま」への参加(毎月15日)や地域のボランティア活動、羽島市における行事(美濃竹鼻なま祭等)へ参加しています。

また、「ポップスフェスタ in 羽島」を羽島高校の活動発表の場として、昨年度より部活動の作品や写真展示等を行いました。本年度は12月13日(土)に羽島市文化センターで行います。

学習以外のいろいろな活動を通して、充実した学校生活を送る源が特別活動にはあります。今後とも、本校の特別活動についてご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。

## ◎ 健康的な生活を送るために

### 保健厚生部

段々と暑い日が続くようになり、体調不良を訴えて保健室に来院する生徒が多くなってきました。午前中の体育の授業に参加した後に、目眩や頭痛といった熱中症様の症状を訴えたり、吐き気や倦怠感を頻りに訴えます。その生徒に共通しているのが「朝食の欠食」です。朝食は1日の活動エネルギーを得るためにかかせないものです。朝食を食べていないと脳が働かず、授業に参加していても集中できない・考えることができないといった状態になります。健康な身体作りのためには栄養バランスのとれた食事が必要不可欠です。各家庭でのご協力をお願いいたします。

1月以降、生徒のみなさんの健康管理のために各種健康診断(内科・眼科・歯科等)が行われました。今年は欠席をする生徒が大変少なく、多くの生徒が健診を受けることができ、大変嬉しく思っています。

健康診断後、病院での治療が必要な生徒には治療のお願いのプリント(ピンク色の紙)を配付しております。特に歯科治療(むし歯)の必要な生徒が多くおりましたので、1学期中または夏季休業中を利用して治療を受け、治療報告書を提出していただくようお願いいたします。

授業に部活動、学校行事と、学校生活を楽しく健康に送るためには健康な心と体が必要です。ご家庭での健康面への見守りとご支援をよろしくお願いいたします。

## ◎ 学びの心を培い、豊かな心を育む学校図書館の創造

### 図書視聴覚部

図書館では今年度、「生徒がつくる図書館」を合い言葉に活動しています。先日、まず手始めに図書委員で有志を募り、自由書房EX 高島屋店まで店頭選書に行ってきました。

自分が読みたい本だけでなく、羽島高校の生徒に読ませたい本を、あらゆるジャンルから制限時間内で選ぶという難しい作業でしたが、5名の委員が熱心に取り組みました。学校へ戻った後、「せっかく自分たちが選んだ本だから、最後まで作業したい」と、本にラベルを貼り、印を押し、ラッピングするといった「受け入れ作業」まで積極的に手伝ってくれました。読者のことを考えて慎重に選び、愛情を持ってラッピングまで行うという一連の作業が完了したそれらの本は今、特に輝きを放って図書館に陳列されています。生徒が選んだ本は人気が高くて、予約待ちのものも出ています。今後も、生徒が活動する場を積極的に作っていきたいと思っています。

また、図書館にあるPOPはすべて生徒によるものです。放課後の時間を利用して、アイデアを凝らして作成したものにラミネート加工を施し、図書館の特設コーナーに飾っているのですが、本をより魅力的にアピールしてくれる効果があり、こちらも好評です。

私たちは、たとえ波瀾万丈の人生を歩んだとしても、限られた経験の中で生きていますが、書物は無限の経験を私たちに模擬体験させてくれます。いろいろな事実や現実を知り、いろいろな考え方があることを知れば、自ずと決断するにあたっての材料が増えていきます。多角的なものの見方ができることは、最善の方法を思いつく一助となるのではないかと考えます。

さて、羽島高校図書館は、保護者の皆さまにも、おひとり一回5冊まで、2週間の貸し出しを行っています。リクエストにもできる限りお応えしたいと思っておりますので、ぜひお子様を通じてご利用ください。



昨年度の進路状況を見ますと、四年制大学進学者が16%（一昨年18%）、短大14%（同15%）、専門学校34%（同30%）、そして就職が31%（同26%）となっています。大学・短大進学者が減少し、専門学校・就職が増加しました。進路先を見ると、大学・短大についてはほとんどが指定校推薦で進路決定をしているため、例年とほぼ同じ進路となっています。専門学校については、AO・自己推薦での進路決定が多くを占め、学校別に見ても名古屋市中心にほぼ例年と同じような専門学校となっています。就職については、希望者のうちの93%が卒業までに内定をいただきました。一昨年が82%の内定率ですので、この春卒業した生徒諸君はとても頑張ってくれました。

進路実現に必要なことは、一言でいうと「競争を勝ち抜いていくための実力をつける」ということとなります。進学も就職も、試験ではまず「学力」をみられます。進学校と呼ばれる高校の生徒は、授業だけでなく、家庭でも他の学習機関でも、学力を磨いていますし、模擬試験によって競い合っています。専門高校の生徒は、授業の中や検定受験で専門的な力を磨いています。

次に大学や企業から評価されるのは、その人の「人間力」です。高校生活の中の「部活動」「生徒会活動」「ボランティア活動」といったものからその人の「意欲」が判断されます。「挨拶」「言葉遣い」「マナー」などからは、その人の「コミュニケーション能力」が判断されます。面接や小論文、書類審査は、そのために行われます。

羽島高校では今、生徒の進路実現のため、次のような活動をしています。

### 1 進学補習・土曜学習

補習は、進学希望者を対象に放課後に行っています。外部模試や入試に対応した内容となっています。土曜学習は、土曜日の午前中、定期考査前の学習や、数学・英語の検定対策を目的として講義や問題演習、自習室の開放などを行っています。



土曜学習（数学検定）

### 2 ふれあい看護体験・2年生インターンシップ

ふれあい看護体験は5月と8月に行われます。全学年の生徒が対象で、看護医療系の進学・就職を考えている生徒に、積極的に参加するように呼びかけています。

インターンシップは、今年度から2年生の就職希望者全員を対象に、7月30日から8月22日のうちの3日間で行われます。教室では得られない貴重な就業体験や事前、事後の研修を通して、

働くことの意義や目的を考える契機にします。特に事前指導については、より充実した取組となるよう、総合的な学習の時間を利用して計画的に進めています。

### 3 キャリア教育アドバイザーの配置

県の「平成26年度キャリア教育アドバイザー配置事業」により、本年度もキャリア教育アドバイザーとして三輪薫さんに勤めていただいています。進路指導部・担任と協力して、保護者の皆様やお子様の就職に関する支援をしております。勤務日が火・水曜日の午前と木曜日の午後となっておりますので、ご相談がありましたら遠慮なく進路までご連絡ください。



キャリア教育アドバイザーによる個人面談

### 4 3年生進路別研修会

4月23日、6月11日、18日に3年生は、進路別研修会を行いました。岐阜県・愛知県を中心に、本校生徒の進学実績の高い大学・短大・専門学校から講師をお招きし、分科会形式で説明を受けました。就職希望者には就職対策講座を実施しました。進路決定を間近に控えた3年生にとって大変有意義な研修会となりました。



3年進路別研修会

最後になりましたが、保護者の方にはお願いがあります。それは、本人の意向を尊重することはとても大切なことですが、ぜひ保護者の方にもお子様の進路について積極的に関わっていただきたいということです。生徒たちは人生の重要な岐路に立っていて、多かれ少なかれ不安定になっています。そんなとき保護者の方のアドバイスは、とても重要な意味を持ってきます。また進学・就職先でのミスマッチを防ぐためにも、家庭内で十分に話し合いをしてください。

またわからないことがありましたら、お気軽にご質問ください。お子様の進路実現に向け、学年間とも協力し、最大限の努力をして参りますのでよろしくお祈りします。

## ◎ 高校生として

### 1年学年会

入学式からすでに3ヶ月がたちました。間もなく1学期が終わろうとしています。緊張感あふれた入学式を迎えた1年生が、この3ヶ月の間に新しい学習環境や部活動、そして人間関係などに戸惑いながらも、ようやく羽島高校の生活にも慣れてきたように感じます。最近のご家庭でのお子さまの様子はいかがでしょうか。

現在の1年生の学校生活で気になる点があります。高校の生活に慣れてきたと書きましたが、それには高校生としての自覚が伴わなければならないと思われれます。しかしまだ自覚を著しく欠く場合が見受けられます。おそらくは中学校の時と変わらぬ生活を送ればよいと考えていて、高校生活を正しく理解していないのでしょう。気分が乗らなければ、学校を休む。遅刻、早退、中抜けをする。理由もなく堂々と授業に遅れてくる。何の準備もしないまま考査を受ける。宿題をほとんど出さない。学校では認められていない頭髪、服装で登校する。以上のようなことを繰り返しますと、成績や進級に影響が出ますので、このような場合は、ご家庭で話し合ってください。是非とも高校生としての自覚を持つように促してください。

さて、今後の予定ですが、2年次からのコース選択をしなければなりません。文Ⅰ、文Ⅱ、理型の3つのコースより、自分の進路希望に合わせて選択してもらうことになります。どのコースを選ぶかによって、進路の方向性が決まります。とても大切な選択ですので、ご家庭でも十分に話し合いを持たれ、ご家族と一緒に考えになってください。詳しくは保護者懇談会で、生徒本人を交えてご検討し、決定してください。

これからも生徒のよりよい進路実現のため、保護者の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

## ◎ 自己の進路を考える

### 2年学年会

早いもので、2年生となり3ヶ月が過ぎました。最初の緊張も徐々にほぐれ、新しい学年にも段々慣れてきています。2年生という学年は、「中だるみの学年」といわれます。しかし一方では、3年生が進学・就職体勢となるに従い、部活動や学校生活など、羽島高校の中心として、活躍を期待される学年でもあります。

1年生の目標は、「高校生活に慣れる」ことでした。そのために、時に羽目を外してしまった生徒には、指導して正しい方向へ軌道修正をすることも多々ありました。しかし、これからは進路目標をしっかりと定め、各自が自発的にその目標に向かって進んでいくことが大切です。はっきりとした目標をもった生徒ほど、今、自分がやるべきことを自覚することができるからです。

そこで2年生の目標は、「自己の進路を考える」です。昨年は、1年を通じて文型か理型かという大きな選択をしました。今年はさらに目標を絞り、より具

体的な進路目標を目指させたいと考えています。

今年度になって気になることが、「遅刻」です。あまりにも安易に「遅刻」をする生徒が増えており、自分の将来を軽く考える生徒が多いことに不安を感じます。3年生になり、いざ自分の進路目標を実現しようとした時に、遅刻や欠席の記録は修正がききません。後になって、1、2年生の時の遅刻がなかったら…欠席が少なかったら…と悔やむ生徒が毎年何人か現れます。現在の生活が、自分の将来を傷つけることがないように、今を大切に生きて欲しいものです。学校でも引き続き遅刻がなくなるよう呼びかけますが、ご家庭でもお子さまが始業時間に間に合うよう、ご協力をお願いします。そして生徒全員が、来年度、自分の目指す進路目標を達成できるよう、ご家庭でも卒業後についての話し合いの機会をもっていただけると幸いです。

## ◎ 進路実現に向けて

### 3年学年会

3年生になって3ヶ月が過ぎ、卒業後の進路について真剣に考える時期になりました。1学期におこなわれた2回の定期考査では、今までになく前向きに取り組む姿が見られました。卒業が視野に入り、勉強に対する姿勢にも真剣さが増しているのでしょうか。

さて、3年生の大きな目標は「進路実現」です。本校生徒の進学先は多岐にわたっており、それぞれの進路希望で違う対策が必要となってきます。1学期では、進路先を進学者と就職者の2つに分け、進路別研修会を多く行ってきました。特に就職者は、9月中旬より就職試験が始まるため、早めの対応が必要です。6月に行われた「保護者向け就職者説明会」では、例年よりも多くの保護者の方々に参加していただき、ありがとうございました。保護者懇談会以前に、就職に関する情報を知っていただけたおかげで、より早い企業の選択ができることでしょうか。お子さまが就職先を決定するときに、保護者の皆様の協力は欠かせません。より満足できる就職先を見つけられるよう、今後もより連携を密にしていきたいと思っています。

また、進学者の入試は2学期が佳境となるため、この夏季休業中の過ごし方が大切になってきます。この夏季休業を、多くの学校から自分の志望校を決定し、その実現を目指す時間として欲しいと思っています。そのために大切なことは「自主性」です。受け身ではなく、生徒自身が「自主的に行動」することが進路実現の大きな鍵となります。

今年になり、3年生が大人になったと感じることがあります。しかし、残念ながらいまだに遅刻をしたり、身だしなみが乱れたりした姿を見ることがあります。本校で過ごす残りわずかな時間のなかで、彼らが「自主的に行動」し、自立した人間になってくれることを願っています。まだまだ力不足な所もありますが、どうか保護者の皆様方のご理解とご協力を引き続きお願いします。3月には、全員が希望する進路を実現し、自立した姿で旅立ってくれることを期待しています。

## ◎ 東海地区高等学校PTA連合会 愛知大会に参加して ◎

PTA会計 鈴木 純子

6月20日(金)、サッカーワールドカップで日本中が盛り上がるなか、今年度の「東海地区高等学校PTA連合会愛知大会」が名古屋市公会堂で開かれ参加させて頂きました。

記念講演では、至学館大学レスリング部監督、栄和人氏が「挫折からの復活—三連覇への道」というタイトルでお話されました。教え子である吉田沙保里選手の裏話などを笑いを交えたユーモアあふれるお話や、指導する上で「感謝」という言葉の大切さをいつも伝えているという貴重なお話を聞かせてもらいました。最後にアテネ・北京・ロンドン五輪三連覇の金メダルを見せていただき、とても感慨深い思い出となりました。

その後で、愛知県立東海商業高等学校が「進路実現に向けてのPTA活動」、三重県立松阪高等学校が「子どもの進路を叶えるために行うPTA行事」というテーマで発表されました。どちらの学校も、それぞれの特色を生かし学校の協力や保護者の理解など、様々な意見の中で子どものために何ができるかを考え、PTA活動を進めていく大切さを実感しました。今後は会員の皆さんが参加したくなるようなPTA活動を目指していけるように推進していきたいと思っております。



第3学年副委員長 虫賀 匡子

6月20日(金)、連日の真夏日の中、新緑に開かれた名古屋市公会堂において「東海地区高等学校PTA連合会愛知大会」に参加させて頂きました。

記念講演は、吉田沙保里、伊調千春、伊調馨らのオリンピックメダリストを輩出している栄 和人様の「挫折からの復活—三連覇への道」でした。コーチとして「純粋にその子のためにどうすればいいか?それだけを考えている」と言う言葉に対し「誰にもないしっつこさ、それが勝ちにつながり感謝している」と吉田選手は言われたそうです。『何かを成し遂げようとする時に神様が心の強さを試すためにやって来る試練』について、また、『始めた時の目標、目的を忘れずに諦めなければ出来る』と言う言葉を重く語られました。裏話として、お菓子の好きだった吉田選手の食生活を見直されたそうです。そうすることで、彼女の体力や筋力はみるみるアップしました。どの話もとても説得力がありました。講演の最後に「吉田沙保里が後ろに來ています。」と冗談で話された後に、実際に吉田選手が獲得した金メダル3個もサプライズで見せて頂きました。

各校の実践発表として、愛知県立東海商業高校は、進路実現に向けてのPTA活動を紹介されました。PTAとして学校の行事に参加し、学校と協力して子どもの進路実現に向けて取り組まれています。

三重県立松阪高等学校は、子どもの進路希望を叶えるために行うPTA行事を紹介されました。PTA活動では、保護者が子どもの進路を叶えるためのサポート力を身につけることが大切であると考え、学校と協力して活動を進めていました。

「○○のために必要な事は何か?」を考えサポートしていく力を高めていくこと。これは、私たちの周りのさまざまな事に置き換えて考えることが出来ます。これからのPTA活動にも反映させることができるように努めたいと思いました。東海大会に参加させて頂きましたことに感謝申し上げます。ありがとうございました。

## ◎ 校内球技大会 ◎

5月28日(水)に球技大会が行われました。

今回の球技大会はバレーボールのみでチーム対抗とし、本校グラウンドに14面のバレーボールコートを作り実施されました。

朝から曇りどついた五月晴れの中で行われた球技大会は、初めに職員チームと女子バレー部のオープニングゲームを行い、その後、学年別男女別にリーグ戦が行われ、午後には、決勝戦と3位決定戦が行われました。

また、全試合の最後には、3年生男子の優勝チームと教員チームの試合を行い、全校生徒が見守る中、今年は職員チームが昨年のリベンジを果たし勝利しました。

前日の準備から当日の審判や運営、球技大会後の後片付けなどもすべて生徒の手により行われるなど、本当に素晴らしい球技大会でした。

試合結果は以下の通りです

|        | 優勝    | 準優勝   |
|--------|-------|-------|
| 1年生 男子 | 1-1 B | 1-4 A |
| 1年生 女子 | 1-5 A | 1-3 B |
| 2年生 男子 | 2-2 A | 2-5 C |
| 2年生 女子 | 2-4 D | 2-1 B |
| 3年生 男子 | 3-2 B | 3-1 A |
| 3年生 女子 | 3-4 B | 3-1 A |

